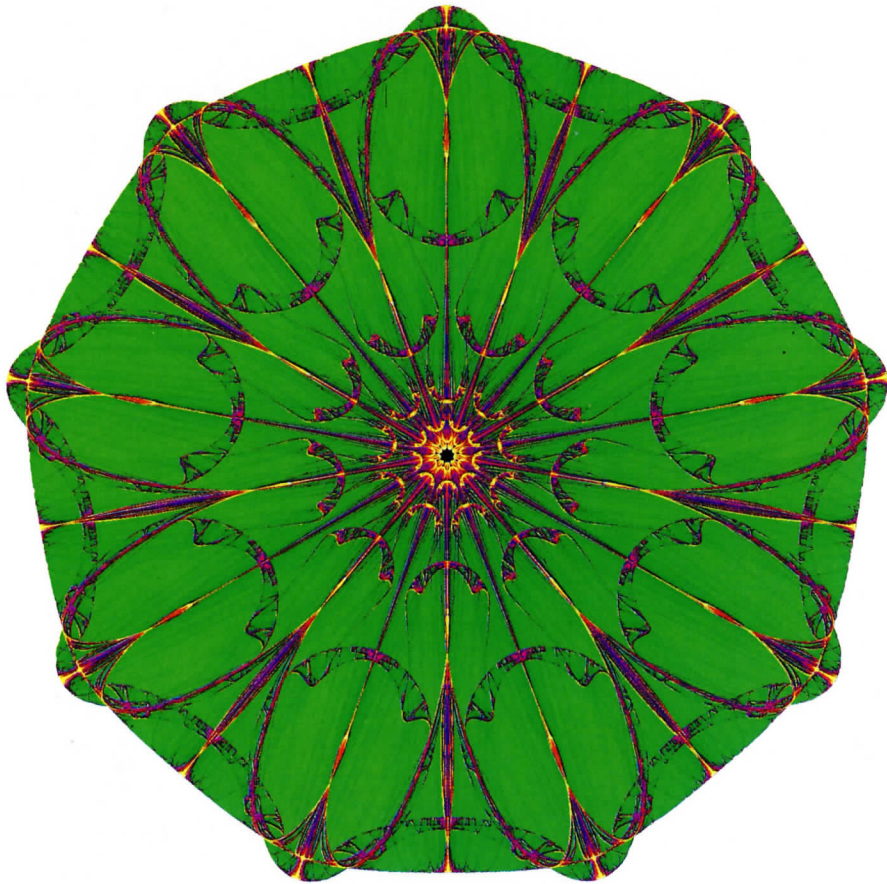


# 数学セミナー



COMPUTER GRAPHICS by M.FIELD & M.GOLUBITSKY

ブーメランの研究をしている  
といえば、マニアックなもの  
をという。その裏には多少の蔑  
視がある。子供の玩具が科学と  
どう関係するのかというのだ。折り  
紙の研究をしているといえば、幼

児教育のなにかだろうと決めてし  
まう。逆にDNAの研究をしてい  
るとかフェルマーの最終定理の証  
明に取りこんでいるといえば、響  
きがよく尊敬される。なぜなのだ  
ろうか。研究対象に優劣などある

はずはないのに、私たちの心の中  
では無意識的に順位をつけてしま  
っている。三浦公亮氏の考案した  
「三浦折り」は、太陽電池のパネ  
ルに应用されるという。ワンタッ  
チで開いたり閉じたりすることが

できるのだ。読売新聞（1987年10  
月27日）に、その作り方が載っ  
ていて試してみた。このアイデアに  
改めて驚かされるとともに、折り  
紙もフェルマーの定理も優劣のな  
いものと思った。（西山 豊）